

第16号

発行日 平成6年6月10日
発行所 東京青山同窓会事務局
〒153
目黒区東山1-3-1-401
TEL 03-3716-3667
発行者 豊岡 富栄

東京今報

東京青山同窓会

東京青山同窓会年間維持費
1口1,000円2口以上(年間)
会計幹事 小林元雄(61回)
振込先
安田信託銀行 虎ノ門支店
普4046552 東京青山同窓会
郵便振込口座 東京9-71045



齊藤英四郎名誉会長（36回）

斎藤伸雄会長（44回）

平成6年度
時局講演会開催される。

平成6年4月27日(水)18時より東洋経済9階ホールで講師2名を招いて「時局講演会」を開催した。

豊岡幹事長の司会で在来の同窓会員80名が参加し、約90分の講演に耳を傾けた。

「激変する国際情勢と日本の課題」

東京大学教授 猪口 孝

「マスコミ報道五つの落し穴」

日本放送協会理事 曾我 健

生きる最も新しい話題を提供し、問題点を解説した。

講演会修了後は講師を囲んで同期、先輩、後輩の同窓生が新潟弁を交えて歓談し、相互に健康を祝し合った。

斎藤伸雄会長 挨拶

本日は、わが国的第一線で活躍しておられる代表的な論客にご登壇をお願い致しました。

最初に70回生で現在東京大学教授(東洋文化研究所)をおられる猪口孝先生と、62回生のＮＨＫの理事をおられる曾我健氏です。皆さんは既にテレビ等で活躍されておるので御存知かと思いますが生の声をお聞きして啓蒙されるところ大であると期待する次第です。

出席者

32回	嵩明之敏彦春子夫助德爾男男啓わ子樹久誠夫也男子滋雄正建樹徹榮子扶二子孝枝子人範
36回	利左治芳久邦哲裕美之宣隆さ明義憲
39回	幹時拓順輝雅克朋榮淑文智和朋
44回	崎屋野田山藤木川木石中山泉口野本藤川田井齒上藤橋井崎谷藤部藤野田津田村藤
46回	林川土水吉石齊佐桧鈴竹田村和桂閑高山齊小山石有川後高藤川渢遠日佐佐太島閑角木佐
48回	63回
50回	64回
52回	65回
53回	66回
54回	67回
56回	68回
58回	70回
59回	71回
60回	72回
61回	73回
62回	74回
	75回
	76回
	77回
	78回
	79回
	80回
	81回
	82回
	83回
	84回
	85回
	86回
	87回
	88回
	89回
	90回
	91回
	92回
	93回
	94回
	95回
	96回
	97回
	98回
	99回
	100回
	101回
	102回
	103回
	104回
	105回
	106回
	107回
	108回
	109回
	110回
	111回
	112回
	113回
	114回
	115回
	116回
	117回
	118回
	119回
	120回
	121回
	122回
	123回
	124回
	125回
	126回
	127回
	128回
	129回
	130回
	131回
	132回
	133回
	134回
	135回
	136回
	137回
	138回
	139回
	140回
	141回
	142回
	143回
	144回
	145回
	146回
	147回
	148回
	149回
	150回
	151回
	152回
	153回
	154回
	155回
	156回
	157回
	158回
	159回
	160回
	161回
	162回
	163回
	164回
	165回
	166回
	167回
	168回
	169回
	170回
	171回
	172回
	173回
	174回
	175回
	176回
	177回
	178回
	179回
	180回
	181回
	182回
	183回
	184回
	185回
	186回
	187回
	188回
	189回
	190回
	191回
	192回
	193回
	194回
	195回
	196回
	197回
	198回
	199回
	200回
	201回
	202回
	203回
	204回
	205回
	206回
	207回
	208回
	209回
	210回
	211回
	212回
	213回
	214回
	215回
	216回
	217回
	218回
	219回
	220回
	221回
	222回
	223回
	224回
	225回
	226回
	227回
	228回
	229回
	230回
	231回
	232回
	233回
	234回
	235回
	236回
	237回
	238回
	239回
	240回
	241回
	242回
	243回
	244回
	245回
	246回
	247回
	248回
	249回
	250回
	251回
	252回
	253回
	254回
	255回
	256回
	257回
	258回
	259回
	260回
	261回
	262回
	263回
	264回
	265回
	266回
	267回
	268回
	269回
	270回
	271回
	272回
	273回
	274回
	275回
	276回
	277回
	278回
	279回
	280回
	281回
	282回
	283回
	284回
	285回
	286回
	287回
	288回
	289回
	290回
	291回
	292回
	293回
	294回
	295回
	296回
	297回
	298回
	299回
	300回
	301回
	302回
	303回
	304回
	305回
	306回
	307回
	308回
	309回
	310回
	311回
	312回
	313回
	314回
	315回
	316回
	317回
	318回
	319回
	320回
	321回
	322回
	323回
	324回
	325回
	326回
	327回
	328回
	329回
	330回
	331回
	332回
	333回
	334回
	335回
	336回
	337回
	338回
	339回
	340回
	341回
	342回
	343回
	344回
	345回
	346回
	347回
	348回
	349回
	350回
	351回
	352回
	353回
	354回
	355回
	356回
	357回
	358回
	359回
	360回
	361回
	362回
	363回
	364回
	365回
	366回
	367回
	368回
	369回
	370回
	371回
	372回
	373回
	374回
	375回
	376回
	377回
	378回
	379回
	380回
	381回
	382回
	383回
	384回
	385回
	386回
	387回
	388回
	389回
	390回
	391回
	392回
	393回
	394回
	395回
	396回
	397回
	398回
	399回
	400回
	401回
	402回
	403回
	404回
	405回
	406回
	407回
	408回
	409回
	410回
	411回
	412回
	413回
	414回
	415回
	416回
	417回
	418回
	419回
	420回
	421回
	422回
	423回
	424回
	425回
	426回
	427回
	428回
	429回
	430回
	431回
	432回
	433回
	434回
	435回
	436回
	437回
	438回
	439回
	440回
	441回
	442回
	443回
	444回
	445回
	446回
	447回
	448回
	449回
	450回
	451回
	452回
	453回
	454回
	455回
	456回
	457回
	458回
	459回
	460回
	461回
	462回
	463回
	464回
	465回
	466回
	467回
	468回
	469回
	470回
	471回
	472回
	473回
	474回
	475回
	476回
	477回
	478回
	479回
	480回
	481回
	482回
	483回
	484回
	485回
	486回
	487回
	488回
	489回
	490回
	491回
	492回
	493回
	494回
	495回
	496回
	497回
	498回
	499回
	500回
	501回
	502回
	503回
	504回
	505回
	506回
	507回
	508回
	509回
	510回
	511回
	512回
	513回
	514回
	515回
	516回
	517回
	518回
	519回
	520回
	521回
	522回
	523回
	524回
	525回
	526回
	527回
	528回
	529回
	530回
	531回
	532回
	533回
	534回
	535回
	536回
	537回
	538回
	539回
	540回
	541回
	542回
	543回
	544回
	545回
	546回
	547回
	548回
	549回
	550回
	551回
	552回
	553回
	554回
	555回
	556回
	557回
	558回
	559回
	560回
	561回
	562回
	563回
	564回
	565回
	566回
	567回
	568回
	569回
	570回
	571回
	572回
	573回
	574回
	575回
	576回
	577回
	578回
	579回
	580回
	581回
	582回
	583回
	584回
	585回
	586回
	587回
	588回
	589回
	590回
	591回
	592回
	593回
	594回
	595回
	596回
	597回
	598回
	599回
	600回
	601回
	602回
	603回
	604回
	605回
	606回
	607回
	608回
	609回
	610回
	611回
	612回
	613回
	614回
	615回
	616回
	617回
	618回
	619回
	620回
	621回
	622回
	623回
	624回
	625回
	626回
	627回
	628回
	629回
	630回
	631回
	632回
	633回
	634回
	635回
	636回
	637回
	638回
	639回
	640回
	641回
	642回
	643回
	644回
	645回
	646回
	647回
	648回
	649回
	650回
	651回
	652回
	653回
	654回
	655回
	656回
	657回
	658回
	659回
	660回
	661回
	662回
	663回
	664回
	665回
	666回
	667回
	668回
	669回
	670回
	671回
	672回
	673回
	674回
	675回
	676回
	677回
	678回
	679回
	680回
	681回
	682回
	683回
	684回
	685回
	686回
	687回
	688回
	689回
	690回
	691回
	692回
	693回
	694回
	695回
	696回
	697回
	698回
	699回
	700回
	701回
	702回
	703回
	704回
	705回
	706回
	707回
	708回
	709回
	710回
	711回
	712回
	713回
	714回
	715回
	716回
	717回
	718回
	719回
	720回
	721回
	722回
	723回
	724回
	725回
	726回
	727回
	728回
	729回
	730回
	731回
	732回
	733回
	734回
	735回
	736回
	737回
	738回
	739回
	740回
	741回
	742回
	743回
	744回
	745回
	746回
	747回
	748回
	749回
	750回
	751回
	752回
	753回
	754回
	755回
	756回
	757回
	758回
	759回
	760回
	761回

激変する国際情勢と日本の課題



東京大学教授
政治学博士
猪口 孝(70回)

「三つの終焉」

今、日本の政治情勢は激動しておりますが、世界の動きといわば軌を一にしているといえる。三つの大きな視点に要約するなら冷戦の終り、地理の終り、歴史の終りとしほることが出来るのではないか。

アメリカはソ連に勝って絶対的優位に立つようになった。ただし中長期的にみるとアメリカ自身、経済的に技術的に足腰が弱まってくるのではないかと心配になる点がある。

第二に地理の終焉。世界のどこで経済活動が行なわれても、瞬時に地球上のあらゆる地点に伝わる。電話、ファックス、テレビ、衛生放送等の通信網の発達が地球を一体化するようになつた。

また自由化の波がすべての国に押し寄せ、国境という垣根がなくなった。

中国、ロシアに限らず、アルジェリアでもアルゼンチンでもどこでも同じです。自由化するとそれまでは、国内で一番

であればよかつたものが、世界のどこから競争者が現れるか分らなくなつた。何百億、何千億、何兆円か使って優位を誇示していたものが、一夜明けてみれば無駄になつてしまうようなことが、次々と起つてくる。どこの国でもウカウカしていられなくなつた。これが地理の終焉のむずかしいところです。三番目の歴史の終焉というのは、共産主義が魅力を失つたことと係つくる。これまで人間幸せに生きる上で、資本主義と共産主義との間のどこを調整するかというやり方で良かったものが、今や自由化の旗のもとで、好き放題、勝手に行動するようになった。自民党などでも、38年間、政府のやることに歩調を合わせておればよかつたものがそうはいかなくなつた。

日本の資本主義はどこを見ても、それぞれ自粛とか自主規制とかでやってきたものが、みんな勝手にモノを言い出しあり、バラバラ、ゆるゆるになつてしまつがなくなりつつある。ここが歴史の終焉のむずかしいところと思う。

海外での動揺など大変なもので、3月にベトナムに行ったとき、これは大変だと思った。日本の陸軍が1941年、それ以前でもフランスが支配していた。第二次大戦後、独立したかと思うとフランスが帰つてくる。フランスを追い払えばアメリカがやつてくる。アメリカがいなくなつたあとは自分が今度はカンボジアに入り込む。ところがそこへ中国が攻めてくる。中国を追い払つたらカンボジアがうるさい、カンボジアと争つてると国連がやつてくる。こんな調子が半世紀紛争続いた。その間500万人くらい死んでいるわけです。

ベトナムで今最も重要な課題はアメリカとの歴史回復です。それがないと何も始まらない。外貨が何もないから、どうしようもない。

昔ホーチミンが自由と独立ほど尊いものはないと言つたそうですが、自由と独立はあっても、国の実体としては何もない国民は諦めつゝも必死になつて立ち上がりうとしている。それが激しい国際競争心になつて現れているんですね。先のベトナム訪問のときあちらの中古バスに乗つたんですね。危なくないのかヒヤヒヤものだったけれども、女性の服装が極端に変つていて、元来ベトナム航空は伝統的にアオザイだったわけですが、昨今ベトナムのスチュワーデスは白と青を

あしらい、体形もあらわな姿に變つていて、透明度も露骨なんですが、国際意識をむき出しにして、それほど外貨獲得に懸命になつていて、何もないから、市場を開放すると周辺からどつと入つてくる。貿易はシンガポールが1位、直接投資は韓国、台湾が上位にあるんです。何もないから海外に頼らざるを得ない。ベトナムの現状はわれわれが子供の頃、新潟の郊外でみられた田園風景と同じなんですね。きわめて前近代的だ。そこで問題が出てくるのは、いざ市場を開放すると数%の中国系がやり手で力を發揮し、他とのギャップが拡がる。インドネシアやスマラのように暴動が起つる。

何しろ国全体では年10%くらい所得が伸びるといつても、中国系の方は20%とかそれ以上になるので、他の国民は不愉快になるから、暴動は起つるべくしておこる。

「ルーツは同じ流れ」

共産主義が魅力を失つて、無秩序の中で、動搖、不安が高まると、結局公安警察の力がはびこるようになる。

飛行機の塔乗者の会話の中でも、何か雰囲気がおかしい。降りてからでも、女性とその部下らしいものが私の後からついてくる。様子がおかしい。保険省の家族計画会議で台湾からの帰りだというのもしかしたら公安なのではないか。私はなまじベトナム語を少しやつたお陰で言葉をかわし、妙な、眼つきで探りを入れられたような気がした。

ベトナムでは極端に現われているけれども、これはソ連の混乱でも、或いは日本の政治情勢の激動でも流れは一緒かと思う。現在我が国の連立政権の中で争われている問題の一つは北朝鮮の核開発です。これは冷戦の終結と関係がある。軍事的には圧倒的にアメリカの力が強く、去年から北朝鮮を囲んで、ミサイル、爆撃機がいつでも一斉攻撃出来る態勢になつてゐる。北朝鮮は完全に破壊されているわけですが、北朝鮮の軍隊はこれに対応して地下にもぐつてゐる。ひょつとしたら地下壕は韓国の内部に入つてゐるかもしれない。韓国も極端なソウルへの一極集中型になつてゐるので、万一の場合、何が起こるかわからない。こういう北朝鮮包囲態勢をとるのはアメリカが足腰のしっかりしている中に、封じ込めておこうと思うからです。

連立政権内部でもう一つの問題になつ

ているのは税金の問題ですが、国際情勢と無縁ではない。アメリカからすれば地球上の現象は自由化の大勢に沿つて、日本も金融、保険、証券をはじめ自由化に踏み切つて貰いたい。しかし官僚はそう一挙にやられてはたまらない。まして不景気なんだから、徐々に調整していくほかない。そこで景気回復の一つの方策として減税案が出てくる。新生党などは減税をやるなら一方で増税をやらないとツヅツマが合わない。社会党はこれに同調できないでもめにもめ、政治再編に大きな波紋を描いたわけです。世界的な激動の中にあっても日本は、無秩序に動かず、為替も安定しているが大きな流れと無縁であるというわけにはいかない。もう一度要約すると、冷戦はアメリカの勝利に終つたが、当のアメリカも先行き問題なしとしない。通信網の革命的進歩の中で自由化の波があらゆる国に押し寄せている。共産主義の脅威はなくなつたが、全ての国で個別的に勝手な行動が見られる。この歴史的大きな変革を見据えてその文明の中でどうすべきかを判断しなければならないということなのであります。

マスコミ報道五つの落し穴

日本放送協会
理事
曾我 健
(62回)



私は昭和11年生れでありまして亀田町から新潟高校に通っていました。

NHKでは、3年ほど前までニュースの現場におりました。世の中はいつでも激動が絶えないのもありまして、当時はちょうど湾岸戦争の最中で、嫌になるほど事件が相次いでいました。時差がありますので、夜、昼なく多忙な毎日が続きました。

「ニュース速報競争」

昨年から細川不眠症なるものに取りつかれておりましたが、今日は小沢不眠症

が悩みのタネであります。と思うと名古屋空港におけるエアバスの大事故発生という具合で心の休まる暇がない。十年一昔とは以前のこと、今は一年一昔です。丁度一年前に何があったか、初の宮沢・クリントン会談です。誰も細川さんが総理大臣になるなど思ってもみなかった。何しろこの5年間でわが国の総理大臣は5人も代っている。3年前を考えてもブッシュ元大統領が圧倒的支持率を誇っていたし、ゴルバチョフ氏も健在だったが、今や影も形もない。原因は何かといえば、猪口教授の話にもあったとおり、三つの終焉が指摘される。これにもう一つニュース屋から加えさせて頂けば、情報化の進展ということがあったのではないか。私たちが新潟で育っていた頃はまだテレビというものがなかったけれども、今はどこの家でも、2台、3台はあたりまえのようだ。テレビ開局40周年などといっているけれども、実際にテレビを通じて情報が噴水のように流れはじめたのは、この14~15年のことなんですね。エレクトロニクス革命で世界が縮まった。

これが国際情勢に拍車をかけているように思う。一つの情報があつという間に世界をかけ巡るとその情報がリアクションを呼び、絡み合っていろんな形で世界に波紋を描く。忙しくなるわけであります。数年前から私たちの合言葉にTNTというのがある。今日のニュースは今日のうちに放送してしまうという意味ですがそれが2~3年もたないうちに、ニュースはその場で放送してしまえということになった。

やがてマルチメディアの時代がやってくると、いつでもスイッチを入れれば欲しいニュースを見ることが出来るようになる。

平成5年の通信白書を見ると、1981年と1991年とでは、電気通信業の情報発進量は、何と31倍という大きな増え方をしている。今回のエアバスの墜落事故でも、残念なことに8時16分に事故が発した10分後に、NHKではなく、日本テレビが、ニュース速報をして電波に乗っている。しかし、その一方で、情報氾濫の時代に入ったともいえるわけで、よほどしっかり、情報を見抜く力をもっていなければならなくなってしまった。うっかりすると、情報に巻き込まれて溺れてしまう。そこで、私なりに5つの落し穴を、考えたわけです。

「湾岸戦争報道の虚実」

湾岸戦争を例にとりますと、あれは別名情報戦争等ともいわれた。開戦の火薬を切って落とされたのをいち早く伝えたのはテレビです。戦争が始まればいつかはニュースになると思っていても、こんなに早くテレビに映し出されるとは思っていない。ブッシュ大統領もフセイン大統領もテレビを見ながら戦争ゲームをやっているようなものでした。ベトナム戦争のときは、戦場からフィルムをサイゴンに送り、現像してアメリカ本国へ送っていたので丸1日時差があった。それにひきかえ、湾岸戦争は時差ゼロです。3年前の4月17日の朝、C.I.Aのテレビをみていたら、西方に閃光が映っている。何か起ったようだけれども何だか分らない。それからご記憶かと思いますが、フセインが原油タンクの爆破を命令したと伝えられた。真っ黒に汚れた海鳥が無惨な油まみれのまま、視聴者の眼に映った。人々はイラクの環境破壊を許せないと怒った。ここで考えなければならないのは、第一報というものは限られたニュースが断片的に伝わってくるために、実相がなかなかよく掴めない。閃光が画面に走ってもそれが戦争だとはその瞬間には分らない。海鳥にしても原油タンクの爆破などではなく、いつも流れている石油によるものだとあとで判明した。一報、速報で安易な判断を下すと、つい落し穴にはまる一つの例です。

そして例えば地震、事故などのニュースでも最初は小さく伝わりがちである。名古屋空港の中華航空エアバス事故でも、第1報では生存者は多いように伝わったが1時間後には死者63名、2時間経つと160名、翌朝の新聞では240名、午後になると262名という風に刻々変る。自分にとって重要な事件であればある程、時をじっと追う必要がある。

「予想(よそう)はうそよ」

二つ目、情報化時代を迎えて予測報道が多くなってきたことがあります。

三つの終焉があつて世の中分りにくくなった。予想もなかなか当らない。

湾岸戦争を思い起こしてみると、イラク軍の撤退報道をめぐって、フセインは撤退するだろうというのがおおかたの見方であった。まだ撤退期限を過ぎても多国籍軍はすぐには攻撃しないだろう、また仮に戦争が始ってもイラクの地上軍は

力があるので戦争は長びくだろう、というのが有力な見方であった。

ところが第一の予想と違ってフセインは撤退しなかった。第二、多国籍軍は直ちに攻撃を開始、これもまだ予想を裏切った。第三、イラクの抵抗は長びくだろうとの予測も外れ、圧倒的な多国籍軍の攻撃にイラクはあっけなく白旗を掲げた。

いろいろな予想ニュースを見ていてもなかなか当らない。昨年8月6日の政変でも細川さんが首相になるとは誰一人予想しなかった。当時の新聞、テレビでは混乱の中で首相は決まらないだろうとみていたが夕方になると情況が一変して一気に話が進んだ。外務大臣も松永(元駐米大使)、盛田(ソニー会長)説が乱れ飛んだが、羽田外相に落ちついた。今度の羽田内閣でも羽田総理は決まつてたものの例の「改新」問題で組閣は手間どった。最近天気予報は当るようになったが、政治、経済、社会問題に関しては、事実と予想はきっちりと分けて把握しなければならない。「予想」は反対から読むと「うそよ」になるのであってその位の気持ちで読み分ける必要がある。どの時点で何をどう予測するかを予め読み込んでおかなければならない。

「一極集中の嫌い」

第3、日本のマスコミには何か大事件が起ると、あらゆるメディアが集中してしまう傾向がある。湾岸戦争が始まると事件はそれしかないような報道姿勢になり、政局が急変すると一極集中的にそれだけを伝える。今回の航空事故に際しては、政局を知りたいと思ってもすべてのチャンネルを回すのですが政治向きの映像は一切出てこない。航空事故一本槍になってしまふ。それにワイド、ショーや週刊誌までが一極集中に輪をかける。さらに情報の魔術がある。テレビの映像は事実を語っていると思われるがちであるが、実はあくまでも事実の一部だということです。多くの事実の中からカメラマンが切り取った情報をお茶の間に届けているという認識を持たなければならない。湾岸戦争のときを例にとると米軍のピンポイント爆撃が好例といえる。すさまじい命中の米軍の状況が記者団に示されると集中攻撃のすさまじさを感じないわけにはいかない。しかし命中したところだけをうまく編集したことはあとになって

わかったことです。

爆撃の先にあるものをよく見抜かなければならぬ。爆撃すれば、されるイラクの人達がいるのだけれどもテレビの上ではそれが分らない。客観的事実の半分以上は映しだされていないことを考えなければならない。

デモ行進なども参加する方と取り締まる側とではまるで印象が違っている。それを見抜く力を養っておく必要がある。これを第4の落し穴としておきましょう。

「演出される情勢」

第5は演出される情報で、これに一番気をつけなければならない。

情報操作は、ヒトラー、スターリンの時代から巧妙に行なわれ、人々は踊らされた。わが国でも問題の大本営発表というのがあった。湾岸戦争のときでも、イラク政府と多国籍軍はともにテレビを最大限に活用した。取材を制限し、検閲して情報操作を演じた。

例えばイラク軍を取材する場合、イラク側が案内する以外は撮影を認められない。許可される所へ行くと、多国籍軍

に攻撃されて泣き叫んでいた女性達がいる、外務省の女性秘書だとか、日本人学校の職員とか、英語の話せる女性を集めてワアワア泣かせていた事実があつた。

一方アメリカ軍の方も、戦死した兵士たちの遺体は一切撮影させなかつた。ベトナム戦争のときに撮影させてこれが反戦気運を刺激した苦い経験があつたわけです。それを踏まえてピンポイント爆撃のようにものだけに限定した。

当時ホワイトハウスやペンタゴンでは毎朝ミーティングがあつて、今日の記者会見ではどんな情報を誰が流すか、どんな反応があるかを細かく打合わせていたことも後日判明した。

むろんこうした情報操作は今日でもある。細川首相などもなかなか上手で、最初の記者会見のころなど議員バッジを外してイメージアップを図っていた。記者会見での説明などでもテレビでは分らないのですが、実際はカメラの野外にある文章を読むという具合です。細川流の演出ですが、情報化時代の今日ではつきものといつてよい。

「日米間の情報量の格差」

その他様々な情報の落し穴がある。

日米両国で調査したところ、日本での情報がアメリカへ伝わる量に対しアメリカからの情報は12倍という結果が出た。東と西との間の伝わり方にも格差があつたりするわけで十分心してからなければならないと思う。

この落し穴にどう対処するか。これはやはり自分でしっかりした大局観、モノサシをもっていないと落し穴にひっかかり、押し流されかねない。

小沢一郎という政治家の言動をみる場合、彼の日本改造計画という著書を読むと彼の考え方が理解出来る。その枠の中で動いていることを念頭におけば大変分かり易い。テレビの場面を離れて美術館で本物を見るのもよいし、自分で積極的に情報を見る眼を養っておく必要がある。自分を取り巻く情報の中で本当に自分の役に立つのは、100に1つという話しもある。私の話しも100の中の1つとして聞いて頂ければ幸です。

第2回斎藤英四郎名誉会長を囲む会

前号15号でも豊岡幹事長の報告文の中で書きましたが、第2回目の会を開催したのでお知らせ致します。

日時 平成5年11月30日午後6時より

場所 東京築地たむら

出席者

斎藤 英四郎(36回)前経団連会長

斎藤 伸雄(44回)和光証券相談役

山城 彰成(48回)NKK会長

田中 敏夫(49回)北越製紙社長

坂野上 啓(51回)中央信託会長

倉茂 周明(55回)大成建設副社長

栗林 貞一(59回)日本航空副社長

高橋 進(61回)住宅金融公庫総裁

長谷川義明(62回)新潟市長

斎藤名誉会長を囲んでの話題は、環日本海の中枢拠点都市を目指す長谷川市長より「新潟市の現状と展望について」説明を受け新潟市の発展を願いつつ歓談した。

事務局 豊岡 富栄(52回)

佐藤 良策(53回)

阿尻 咸吾(55回)

平成6年度 東京青山同窓会

新人歓迎会 開催案内

日時 6月17日(金)18:00~20:30

場所 東洋経済9階ホール

本年も4月に希望に燃えて上京し大学生活に入った第102回卒業生を迎えて新人歓迎会を開催致します。新潟高校より担当された諸先生も上京して参加します。多数参加して後輩を激励されることを期待しております。

詳細は事務局までおたずね下さい。

Tel.03-3716-3667

平成6年度 青山同窓会総会(新潟)

日時 平成6年7月15日(金) 18:00~

会場 ホテル新潟

東京から参加される同窓会員で、新潟に宿泊される方は、ホテル新潟をご利用下さるようご案内致します。

ホテル新潟代表取締役 小松原 金二(59回)

●東京連絡所 Tel.03-3502-1004 大宮 健介

計報 石崎 重郎(29回) H6年4月29日没

石塚 英男(75回) H6年4月23日没

(当同窓会 事務局長現職)

以上、ご冥福をお祈り申し上げます。

*尚、当事務局は当分の間現行のままとします。

事務局長は、佐藤良策(53回)氏が代行する予定。

